



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 中山福株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7442 URL https://www.nakayamafuku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 宣博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼グループ事業部長 (氏名) 橋本 謹也 TEL 06-6271-5393
 兼経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,542	△0.9	43	—	143	—	89	—
2020年3月期第1四半期	11,648	△0.7	△193	—	△57	—	△63	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 248百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △192百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.55	—
2020年3月期第1四半期	△3.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	31,896	20,210	63.4	1,028.74
2020年3月期	29,434	20,497	69.6	1,043.36

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,210百万円 2020年3月期 20,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	△8.5	△200	—	0	—	△30	—	△1.53
通期	45,500	△2.5	20	△58.6	390	△17.4	200	△9.1	10.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	20,214,480株	2020年3月期	20,214,480株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	568,944株	2020年3月期	568,943株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	19,645,536株	2020年3月期1Q	20,111,809株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が保有する当社株式 (2021年3月期1Q 191,200株、2020年3月期 191,200株) が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2021年3月期1Q 191,200株、2020年3月期1Q 一株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が発出され、企業活動の制限のみならず様々な分野の経済活動に波及し、生産活動や消費活動が著しく低下する状況となりました。また緊急事態宣言が解除され、経済活動は再開したものの、景気の回復は鈍く、感染症第2波の発生も懸念されることから、経済の先行きは極めて不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「新たな生活様式」によって個人の消費行動が変容するなど多様な事業環境となりました。

このような中、当社グループにおきましても従業員の外出の自粛や時差出勤及び在宅勤務によって「密」を避けるなどの事業運営上の対策を図り、安定した物流体制や販売体制の維持及び構築に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、いわゆる「巣ごもり消費」を背景としたインターネット通信販売事業による販売やプラケース・園芸用品の販売が伸長したこと、また緊急事態宣言の解除後には、家庭用品・日用雑貨の販売が回復に向かったことにより、売上高は115億42百万円（前年同期比0.9%減）となりました。損益面におきましては、収益性の高い商品の販売が伸長したこと等により、営業利益43百万円（前年同期は営業損失1億93百万円）、経常利益1億43百万円（前年同期は経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益89百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失63百万円）となりました。

品目別売上高につきましては、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		前年同期比増減額 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
キッチン用品	3,679	31.6	3,960	34.3	280
ダイニング用品	3,256	28.0	2,537	22.0	△718
サニタリー用品	1,672	14.4	1,676	14.5	3
収納用品	980	8.4	969	8.4	△11
プラケース・園芸用品	349	3.0	459	4.0	109
インテリア関連商品	191	1.6	186	1.6	△5
シーズン用品その他	1,518	13.0	1,752	15.2	234
合計	11,648	100.0	11,542	100.0	△106

「キッチン用品」は、フライパン、鍋ギフトセット、調理小物等を中心に39億60百万円（前年同期比7.6%増）となりました。「ダイニング用品」は、ステンレスボトル、タンブラー、卓上保存容器等を中心に25億37百万円（前年同期比22.1%減）となりました。「サニタリー用品」は、清掃用具、浴室小物、スペアテープ等を中心に16億76百万円（前年同期比0.2%増）となりました。「収納用品」は、プラスチック引き出しケース、寝具小物、キッチンアクセサリー等を中心に9億69百万円（前年同期比1.2%減）となりました。「プラケース・園芸用品」は、コンテナ収納、園芸用品を中心に4億59百万円（前年同期比31.5%増）となりました。「インテリア関連商品」は、時計、照明等を中心に1億86百万円（前年同期比2.6%減）となりました。「シーズン用品その他」は、ベビー用品、キャンプ小物、ウォータージャグ等を中心に17億52百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は210億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億82百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が12億80百万円、受取手形及び売掛金が3億50百万円、商品及び製品が4億42百万円、電子記録債権（流動資産のその他）が2億55百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は108億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が54百万円、無形固定資産が17百万円それぞれ減少したことと、投資その他の資産が2億51百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は318億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億61百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は95億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億44百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が20億22百万円、支払手形及び買掛金が6億36百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は21億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が62百万円減少したことと、繰延税金負債(固定負債のその他)が69百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は116億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億49百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は202億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益89百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の増加1億58百万円と、剰余金の配当5億35百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.4%(前連結会計年度末は69.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月19日の「2020年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,759,469	5,040,394
受取手形及び売掛金	8,869,384	9,220,355
商品及び製品	4,645,643	5,088,311
仕掛品	19,034	20,885
原材料	116,825	112,594
その他	1,404,187	1,615,176
貸倒引当金	△10,357	△11,359
流動資産合計	18,804,187	21,086,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,996,412	2,960,983
土地	3,231,485	3,231,485
その他(純額)	217,756	198,667
有形固定資産合計	6,445,655	6,391,137
無形固定資産		
のれん	399,604	380,791
その他	31,742	32,983
無形固定資産合計	431,346	413,774
投資その他の資産		
投資有価証券	3,290,104	3,530,944
その他	505,047	515,826
貸倒引当金	△42,038	△42,038
投資その他の資産合計	3,753,113	4,004,732
固定資産合計	10,630,115	10,809,643
資産合計	29,434,303	31,896,001

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,327,088	3,963,619
短期借入金	2,014,567	4,036,722
1年内返済予定の長期借入金	260,186	260,186
未払法人税等	134,149	69,330
賞与引当金	229,588	116,058
その他	820,617	1,084,466
流動負債合計	6,786,197	9,530,383
固定負債		
長期借入金	1,527,351	1,465,189
役員株式給付引当金	10,919	14,559
退職給付に係る負債	260,737	264,818
その他	351,656	410,939
固定負債合計	2,150,663	2,155,506
負債合計	8,936,861	11,685,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,000	1,706,000
資本剰余金	1,269,000	1,269,000
利益剰余金	16,650,093	16,203,978
自己株式	△313,938	△313,938
株主資本合計	19,311,155	18,865,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,116,873	1,274,894
繰延ヘッジ損益	9	96
退職給付に係る調整累計額	69,402	70,082
その他の包括利益累計額合計	1,186,286	1,345,072
純資産合計	20,497,441	20,210,112
負債純資産合計	29,434,303	31,896,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,648,998	11,542,093
売上原価	9,604,152	9,342,455
売上総利益	2,044,845	2,199,637
販売費及び一般管理費	2,238,151	2,155,716
営業利益又は営業損失(△)	△193,305	43,920
営業外収益		
受取利息	28	20
受取配当金	23,740	23,108
仕入割引	80,605	54,202
その他	39,297	30,402
営業外収益合計	143,671	107,733
営業外費用		
支払利息	4,241	5,521
賃貸費用	1,631	1,525
その他	1,739	998
営業外費用合計	7,612	8,044
経常利益又は経常損失(△)	△57,246	143,609
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△57,246	143,609
法人税等	6,349	54,133
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△63,595	89,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63,595	89,476

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△63,595	89,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127,794	158,020
繰延ヘッジ損益	△123	87
退職給付に係る調整額	△933	679
その他の包括利益合計	△128,850	158,786
四半期包括利益	△192,446	248,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,446	248,262
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。